

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年05月01日

事務事業名	自殺予防対策事業			担当	健康福祉部　社会福祉課　障害者福祉係	
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8129	
施策名	6 健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	自殺対策基本法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21 年度～）	
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>平成18年10月施行された自殺対策基本法により国、地方自治体、医療機関、事業所、学校、民間団体等関係者の密接な連携の下に実施することになった。</p> <p>このような状況を踏まえ自殺を予防するためには住民の正しい理解・意識の高揚が不可欠であることから、普及啓発活動・関係機関の連携を図り実施していくことになった。</p> <p>地域自殺対策緊急強化事業費補助金（県補助金10/10）を財源としている。</p>					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
26年度実績 自殺対策啓発用パンフレットを小6の保護者に配布した。 こころの相談窓口の普及啓発を図った。 自殺予防に関して市ホームページで啓発した。 市ホームページに、ストレス度や落ち込み度をチェックできるセルフチェックシート「こころの体温計」を掲載し、早期対応を促した。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 研修会・講演会参加者数</td><td>人</td><td>150</td><td>90</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>イ 窓口での相談件数</td><td>件</td><td>108</td><td>120</td><td>125</td><td>136</td><td>145</td></tr> <tr> <td>ウ チェックシートアクセス数</td><td>件</td><td></td><td></td><td>44,344</td><td>12,554</td><td>23,064</td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア 研修会・講演会参加者数	人	150	90	0	0	0	イ 窓口での相談件数	件	108	120	125	136	145	ウ チェックシートアクセス数	件			44,344	12,554	23,064	エ							オ						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																												
ア 研修会・講演会参加者数	人	150	90	0	0	0																																												
イ 窓口での相談件数	件	108	120	125	136	145																																												
ウ チェックシートアクセス数	件			44,344	12,554	23,064																																												
エ																																																		
オ																																																		
27年度計画 前年度と同様																																																		
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
市民		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市民</td><td>人</td><td>82,126</td><td>81,511</td><td>80,929</td><td>80,698</td><td>80,590</td></tr> <tr> <td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア 市民	人	82,126	81,511	80,929	80,698	80,590	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																												
ア 市民	人	82,126	81,511	80,929	80,698	80,590																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 自殺を未然に防ぐため、症状のあるものに対して適切な医療や相談が受けられる。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 自立支援精神道院受給者数</td><td>人</td><td>518</td><td>1,200</td><td>597</td><td>624</td><td>636</td></tr> <tr> <td>イ 相談により適切な指導を受けた人数</td><td>人</td><td>108</td><td>120</td><td>125</td><td>136</td><td>145</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア 自立支援精神道院受給者数	人	518	1,200	597	624	636	イ 相談により適切な指導を受けた人数	人	108	120	125	136	145	ウ							エ							オ						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																												
ア 自立支援精神道院受給者数	人	518	1,200	597	624	636																																												
イ 相談により適切な指導を受けた人数	人	108	120	125	136	145																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 自殺者数の減少		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市内自殺者数（内閣府発表）</td><td>人</td><td>19</td><td>18</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td></tr> <tr> <td>イ 市内自殺死亡率（十万人に対する人数）</td><td>%</td><td>23.9</td><td>22.7</td><td>17.2</td><td>16.1</td><td>14.9</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	ア 市内自殺者数（内閣府発表）	人	19	18	14	13	12	イ 市内自殺死亡率（十万人に対する人数）	%	23.9	22.7	17.2	16.1	14.9	ウ							エ							オ						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																												
ア 市内自殺者数（内閣府発表）	人	19	18	14	13	12																																												
イ 市内自殺死亡率（十万人に対する人数）	%	23.9	22.7	17.2	16.1	14.9																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)																																											
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	774	423	385	182																																											
		地方債	千円	0	0	0	0																																											
		その他	千円	0	0	0	0																																											
		一般財源	千円	0	0	0	0																																											
事業費計（A）		千円	774	423	385	182																																												
人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2																																												
	延べ業務時間	時間	35	35	35	35																																												
	人件費計（B）	千円	148	147	142	148																																												
トータルコスト(A)+(B)		千円	922	570	527	330																																												
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																		
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。		平成18年10月の自殺対策基本法の施行に伴い、本市も関係機関と密接な連携の下、自殺予防対策としての普及啓発活動を実施してきたが、平成21年度からは、事業費を計上し、市独自の普及啓発事業を実施することになった。																																																
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		平成25年5月から、携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度をチェックできる「こころの体温計」を市ホームページに掲載している。自殺率は、低下している。																																																
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？																																																		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民がメンタルヘルスに留意し、こころの健康づくりに努めることは、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 自殺対策基本法に基づき関係機関が連携し事業を実施することになっているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 自殺対策基本法に定められた事業であるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 自殺対策基本法に基づく事業なので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 自殺対策基本法に定められた事業であるので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費で行っているので、事業費の削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で対応しているので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全市民を対象としているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		